

みずほ

ごみ減量・環境・
リサイクル特集号

地球温暖化防止対策

節電にご協力を！



昨年の瑞穂町庁舎の様子

町では2009年度から役場庁舎や各小学校の外壁にゴーヤのカーテン作りを進めています。

窓をゴーヤで覆う「緑のカーテン」は日差しを遮るほか、葉から水分が蒸発する蒸散作用によって、室温が2～3度下がる効果が期待され、ヒートアイランドや地球温暖化への対策として、近年注目されています。

東日本大震災で夏の電力不足が心配されますが、クーラーを使わず室温を下げられ、節電対策にも有効的です。

6月5日（日）の全町一斉清掃でゴーヤの苗を配付します。詳細は第29回全町一斉清掃のご案内をご覧ください。



ごみ減量も節電に

ごみが減ることでその収集・処理・処分にあたり、使用する電力等も減ることになります。

普段の分別やごみの再利用など、ごみ・資源との付き合い方を見直して、さらなるごみの減量にご協力をお願いします。



スチックの分別について

容プラに入れてはいけないもの

容プラは収集した後、プラスチックの原料などとして再利用されます。

容プラ以外のものが混ざっていると再利用が困難になり、また、さらなる分別作業が必要となり、余分なエネルギーやコストがかかったり、異物により機械が破損してしまうこともあります。

現在、容プラに異物（本来入れるべきでないもの）が約1割混入しています。

容プラに混ざっている異物には以下のようなものがあります。

●ペットボトル

→ペットボトルとして出してください。



●プラスチック製品

→下の記事を参考に分別してください。



●布→布類として出してください。



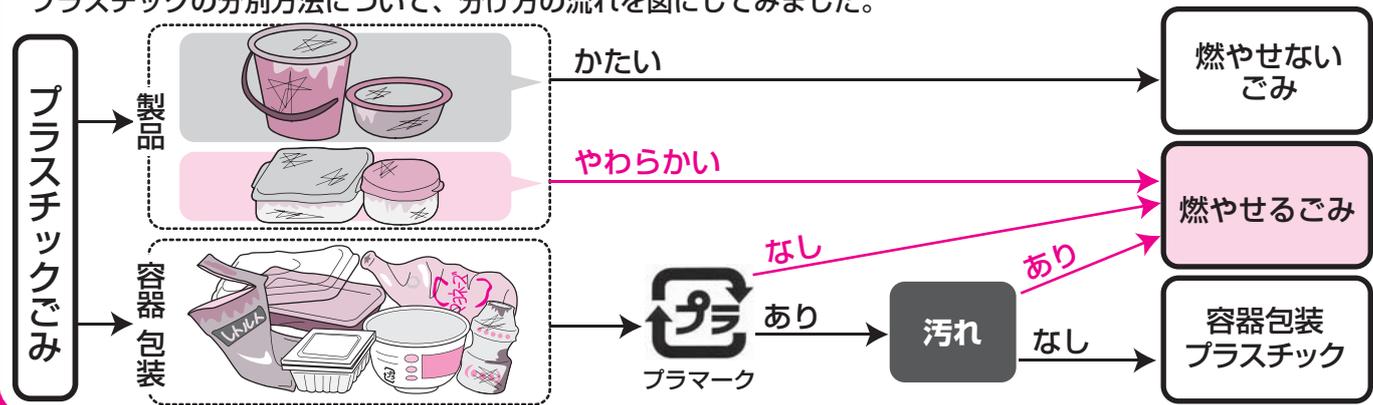
●その他（金属・燃やせないごみなど）



みなさまのご協力でこうした分別の間違いは減少します。よろしくお願いいたします。

プラスチックの分別方法について

プラスチックの分別方法について、分け方の流れを図にしてみました。



見直そう！容器包装プラ

容器包装プラスチックとは？

「商品を入れたり包んだりしているプラスチック製の容器や包装で、中身を出した後、不要になるもの」のことを言います。(以下、「容プラ」と省略いたします)

基本的には、「プラマーク」(右図参照)の表示を目印に、分別をしてください。



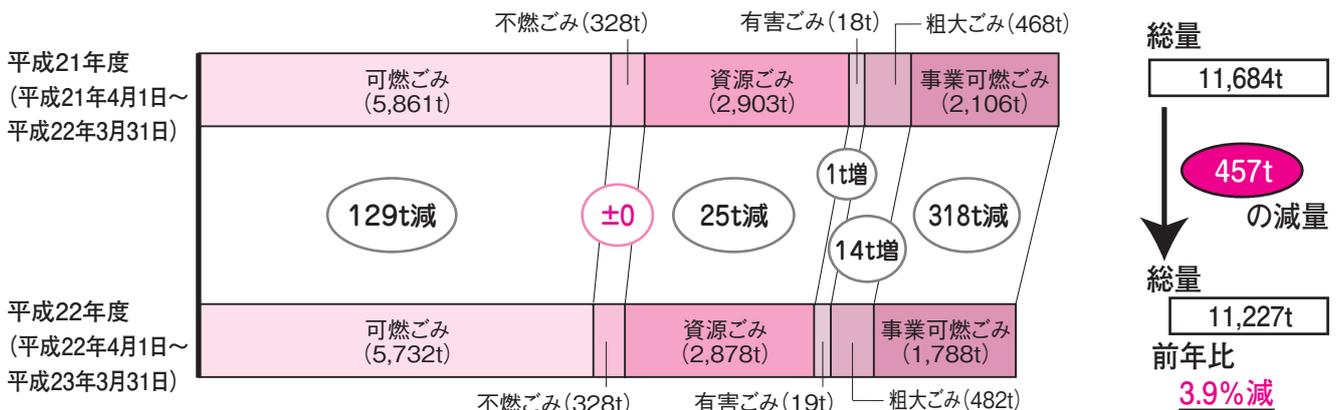
容プラは「食料品や日用品のボトル」、「食料品の袋」、「日用品の袋やパック」、「食料品のカップやパック」、「食料品や日用品のチューブ」、「食品トレイ・発泡スチロールの容器」、「緩衝材・中仕切り」、「キャップ」などがあげられます。

容プラの分別・排出についての注意点

- 中身を使い切り、水で洗って乾かしてから、袋に入れてください。
→汚れているとリサイクルできません。洗ってもきれいにならないものやきれいにすることが難しいものは燃やせるごみです。
- 容プラは、風の強い日には飛ばされて、道路などに散乱してしまうことがあります。
飛ばされないように、S字フック・ネット・容器・重しなどをしてください。
- 容プラ・布・ペットボトルの日に、それぞれのごみを一袋にまとめて出す方がいらっしゃいますが、種類ごとに分け、別々の袋で出さないと回収いたしませんのでご注意ください。

瑞穂町のごみ総量

平成22年度瑞穂町のごみの総量を見てみましょう



平成22年度は前年比で3.9%の減量となりました。特に燃やせるごみは大幅に減量され、全体の項目別でも減少傾向にあることが伺えます。焼却ごみ、埋立ごみを減らすためにも、今後も引き続きご協力をお願いします。

- 資源ごみ …カン、ビン、金属、ガラス、紙類(新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、雑がみ)、布類、ペットボトル、容器包装プラスチック
- 有害ごみ …電池、蛍光灯、電球、水銀体温計、温度計、ライター、スプレー缶、カセットボンベなど
- 事業可燃ごみ …町内にある事業者から排出された可燃ごみ

みずほエコパークフリーマーケットのご案内

日時 6月19日(日)(雨天中止)
午前9時～午後1時
場所 みずほエコパーク
管理棟前広場

みずほエコパークでは、循環型社会を推進するため、フリーマーケットを開催しています。町内外・横田基地等からの多数の出店があり、毎回到ぎわっています。お誘い合わせの上、ご来場ください。

なお、駐車スペースには限りがありますので、できる限り徒歩、自転車でお越し下さい。

今後は、9月・10月・11月・2月・3月の第3日曜日に開催します。



問合せ みずほリサイクルプラザ

TEL 042-557-5364 ファクス 042-557-1853

6月20日～8月31日

昼も夜もライトダウン2011

環境省では、地球温暖化防止のため、また東日本大震災を受けた節電の必要性を踏まえ、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼びかけるキャンペーンを実施します。

実施期間中、昼も夜も自主的に2時間以上の消灯を呼びかけることとしています。

特に6月22日(水) [夏至] を「夏至ライトダウン」、7月7日(木)を「七夕ライトダウン」と題し、午後8時から10時までの2時間程度、照明の消灯にご協力ください。

問合せ

CO₂削減／ライトダウンキャンペーン事務局
TEL 03-3534-1008

河川の水質向上にご協力を

～道路側溝、下水道に油などを流さないで～

雨水は、さまざまな経路を経て、残堀川など河川へ流れ込みます。油や塗料、生活排水の垂れ流しは、河川環境やそこに生息する生物にも多大なる悪影響を及ぼします。

河川の水質向上にご協力ください。



問合せ 環境課 TEL 557-0544

住宅用環境配慮型機器購入費助成金制度

町では、地球温暖化防止の一環として、家庭から排出される温室効果ガスを削減するため、高効率給湯器や太陽光発電システムを設置した町民の方への設置費用の一部を助成します。

詳しくは、広報4月号、または町ホームページをご覧ください。環境課環境係(TEL 557-0544)までお問い合わせください。

